

市仏連会報

発行所
 横浜市中区大平町96
 光明山西有寺内
 横浜市仏教連合会
 電話(045)661-0166

ご挨拶

横浜市仏教連合会
 会長 川上敬吾

春彼岸の諸行事も無事おつとめなされたこと存じます。日頃は市仏連の諸行事にご協力いただいておりますこと誠にありがたく心から感謝申し上げます。



本年の第三十三回涅槃会は担当区仏の南・港南区仏教会のご協力をいただき無事円成することが出来ました。市川会長の卓越したご指導のもと区仏会員諸師の献身的なご尽力のたまものと心から御礼申し上げますとともに、会所の常照尊様には何かとお心くばりをいただき多大なるご便宜を賜り大変お世話になりましたこと感謝申し上げます。次第です。

さて、昨年十一月十九日に開催されました全日本仏教徒会議神奈川大会では市仏連会員諸師に多大なるご協力を頂きまして盛会裡に円成出来ましたこと誠によろこばしくあらためて感謝申し上げます。ご存知のように市仏連としても第

三分科会にて時局対策委員長佐藤功岳師が提言者となられ「現代社会における仏教葬儀のあり方」というテーマで討論がなされました。やはり葬儀についての討論の場でありますから寺院方の関心が大変強く、参加者がとても多く活気ある分科会でありました。分科会での提言者の提言内容、パネリストの方々の発言内容は市仏連会報第六十五号にてすでに取り上げられておりますので省略いたしますが、通夜・葬儀の際の法話の重要性、又葬儀社の方々との対話の機会を多く持ち互いの理解を深めていくことの必要性等、我々寺院サイドとして真摯に対応していかねればならない点が多くあることを痛感いたしました。

次に三月十日開催されました時局対策委員会の議事の中で市仏連会員と委員会との間の理解度不足の解消という事で意見がかわされました。委員会が議論されて結論づけられたことが会員に完全には伝わっていないところもあるとのことです。今後は区仏の会長方との会合(委員会への参加も含めて)を持つことにより各区仏の会長から会員にもれなく伝達出来るように改めていく方向に持っていきたいと思います。又ドリーム

ランド跡の墓地の件について協議されましたが、私自身まだ一度も行ったことがないので詳しい事は解らないのですが、聞いたところによると祭祀としての墓というよりも何か物を埋める場所(唯物的)といった感じで、心のともなわないおよそ神聖な墓所とはかけはなれていて何か違和感があるとのこと。又、樹木葬にしても唯樹のまわりに骨つぽごと埋葬するだけとのこと(遺骨を土の中にじかに埋めることはしない)、これでは樹木葬も名だけのものではないのかなのではと、そういう印象だそうですね。祭祀としての墓という観点から一度市当局(墓地管理者)と話し合うことも必要ではないかと思っております。今後の課題としたいと思います。

- 涅槃会担当区予定——
- 平成21年第34回 戸塚区仏教会
 - 平成22年第35回 鶴見区仏教会
 - 平成23年第36回 西区仏教会
 - 平成24年第37回 磯子区仏教会
 - 平成25年第38回 神奈川区仏教会

- 泉慰靈堂出仕当番表——
- 平成20年6月5日 港北区
 - 平成20年10月6日 金沢区
 - 平成20年11月5日 中区
 - 平成21年4月6日 保土ヶ谷旭区
 - 平成21年6月5日 鶴見区
 - 平成21年10月5日 戸塚区
 - 平成21年11月5日 栄区
- ※原則当月の5日であるが、土日祝日と重なる時は翌日。

計報

前港北区仏教会長、横浜市仏教連合会時局対策委員を務められた天台宗金蔵寺住職内田大寛師が、去る平成十九年七月十四日、七十一歳にて遷化された。往年は、アジア方面への遺骨取集団にも参加されたり、ボランティア活動等に尽力された。

——総会議長担当区——

- 平成21年第36回 戸塚・瀬谷区
- 平成22年第37回 泉・栄区
- 平成23年第38回 鶴見・神奈川区
- 平成24年第39回 西・磯子区
- 平成25年第40回 港北・中区

お知らせ

- ◎第三十五回総会
平成20年5月21日西有寺14時
- ◎春の仏跡参拝旅行
平成20年6月2日(月)
鎌倉光明寺、建長寺、青蓮寺
旅費九千円

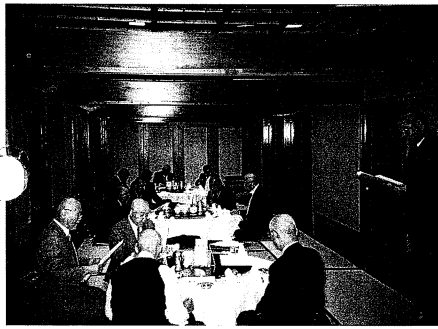


俳優の高橋さんと常照寺の皆様

歳末理事会報告

平成十九年十二月十四日(金)に中華街「同發新館」で午後五時、市仏連理事会が開催され、二十三名の出席があった。玄野孝善市仏連副会長が司会進行をされ、開会の言葉を宣し、川上敬吾師が会長挨拶をされた。議題一、第三十三回涅槃会について、担当区、南・港南区仏教会長の市川智彬師、同区仏会員の寿量寺・宮川是忠師、貞昌院・亀野哲也師の三人より説明があった。平成二〇年二月十四日(木)午後一時より、南区南太田一・二・四・四一の日蓮宗常照寺(伊東隆司住職)で開催予定。講師はフリーアナウンサーの大橋照子さんに決定。二、総会の日時決定、平成二〇年五月二十一日(水・友引)、西有寺様にて、午後二時。※総会議長は戸塚区と栄区仏会長。三、会報発行の件について、第65号編集、発行状況、備前恭忍会報担当より、取り急ぎ発行できるように奮闘中です。暫時お待ち下さる寛容心をお願いします。四、秋の仏跡参拝旅行報告、玄野師が取り止めの経過報告。緊急役員会を十九年九月九日、於勤行寺、九月九日メット時点で一〇名のみ参加しかなかった。久安寺・善通寺参拝・倉敷・淡路等の瀬戸内旅行日程変更の件、十月三・五日からの旅行日程を変更し十一月二十六日(二十八日)に延期と決定した。しかし、やはり十名程度の参加者のため、秋の参拝旅行を取り止めと決定。

五、春の仏跡参拝旅行の件(場所・日時) BS観光の真川明氏より説明。平成二〇年六月二日(月・友引)に決定。場所、鎌倉方面、浄土宗光明寺、臨濟宗建長寺、真言宗高野山派青蓮寺等参拝。六、県慰霊堂奉仕の件、平成二〇年の担当区四月・磯子区、六月・港北区、十月・金沢区、十一月・中区。七、時局対策委員からの報告・時局対策委員長・大圓寺・佐藤功岳師より。八、その他。イ、横山敏明泉仏会長。第四十回の全日本仏教徒会議、神奈川大会開催で無事に市仏連様方の全面的な支援、協力のお蔭で運営できましたと御礼の挨拶を申された。ロ、今後の参拝旅行等市仏連行事参加人数増強確保の件、市仏釈尊奉讃会のご依頼の件、玄野師より、新事務局長就任の東林寺の滝田久光師を紹介。市仏連顧問弁護士遠藤隆也先生より現在の動向について話があった。裁判員制度の現実化、免れることはできないのかと質問される。



借金のグレーゾーンの部分で十年間まじめに支払った人に過徴金が返還される。過払いなどの場合は法テラスに相談下さい。「法テラス」迷うあなたの道しるべ。全国五〇ヶ所にオープン!。法的トラブルで困ったときには電話〇五七〇〇七八三七四(おなやみなし)平日九時〜二十一時、土曜日九時〜十七時。日本司法支援センター。審議終了。六時より納会、乾杯を市仏連顧問の都築哲信師の御発声で。懇親を大いに深めた。閉会の言葉・山本信行市仏連副会長がのべられ、お開きとなった。

第三十三回涅槃会開催 於 常照寺 南・港南区仏教会担当

平成二十年二月十四日、市仏連の涅槃会が開催された。今年の会処寺院は、南区南太田の日蓮宗西山常照寺様で、好天に恵まれ、奉讃会・檀信徒一五〇名余、僧侶・関係者七〇名近くの大勢の参集者で厳修された。

南・港南区仏教会(会長市川智彬師)は、五十六ヶ寺が加盟し、当番区として第一回打ち合わせを昨年十一月二十一日に興禅寺様にて、第二回を常照寺様で二月一日に行う程に念入りに準備された。

常照寺は、京浜急行南太田駅下が山門前で、通称南太田の鬼子母神として有名である。由緒は、八代將軍徳川吉宗公の頃に江戸城大奥にこの鬼子母神が祭祀されていたが、大政奉還時に中山法華経寺



に納められたもので、明治六年に法華経寺の横濱説教所として日修上人によつて常照寺が開創された折に、再度この地に奉安されたものである。現在の本堂は大正六年に再建され、大空間の広くて趣きのある建物である。現当伊東日隆上人は第六世である。

参集者は、プログラム、布教冊子(お釈迦様を知る事典)、供物を受けて、準備の整った堂内に入る。本堂内陣には仏師望月秀晃さん寄贈の木彫涅槃像が安置され、左脇間には大正期の大涅槃図が掛けられている。

午後一時、鐘の音とともに、リコーダー奏者小俣達朗さんの演奏が始まる。お馴染みの「コンドルが飛んで行く」などの澄み切った

音色に涅槃寂靜の場が自然と演出される。「寺の庭で楽器になるものを探してきました。ドングリの皿の部分に穴を開けたものです。」との説明とともに奏でる音色に一同から感嘆の拍手が上がる。

続いて、俳優の高橋長英さんが登場し、小俣さんのリコーダーの伴奏の中で、宮沢賢治の童話「よだかの星」と「雨二モマケズ」の詩を朗読された。高橋さんは近く三春台に住まわれ、寺の前をよく通られるのだそう。涅槃会に相応しい朗読と伴奏に万雷の拍手が堂内に響き渡った。

午後一時四十五分、大太鼓が三通三下に打ち出され、林田眞成市仏連専務理事が、導師・脇導師・式衆の入堂を告げ、一同合掌でお迎える。玄野孝善市仏連副会長の開式の言葉があり法要が始まる。

一同三礼、三帰依文の唱和に続き川上導師により釈尊一代記と涅槃会の意義が判り易い言葉の啓白文とし丁寧に奉読された。観音経普門品偈、舍利礼文の読経中に横山県仏会長、都築市仏連顧問、美濃口奉讃会代表、常照寺連浦総代長等が指名焼香、参列者一同廻し焼香が行われ、二百余名の読経唱和のご法楽が日蓮宗独特の木鐘の乾いた響と相まって山内に満ち溢れ、金座役上人の回向文独唱、全員での普回向訓読み、三礼と続き式衆退堂で法要は終了した。二時十五分だった。配役、導師・市仏連会長・川上敬吾師、脇導師・南・港南区仏教会長・市川智彬師・常照寺住職・伊東隆司師、金座(羅那・

寺西英樹師、式衆・荒川泰崇師・荒川泰淳師・牧野博淳師・鈴木照雄師（以上六人は日蓮宗上人）、道場係四人（区仏教会諸師）。二時二十五分より第二部式典に入る。はじめに川上市仏連会長の挨拶では、法華経の諸法実相と釈尊誕生の天上天下唯我独尊の偈について全ての存在のありのままが仏さまなのだから、お互いを認め相互礼拝を心がけ、安らぎの世界を実現させようと説かれた。次に美濃口久義市釈尊奉讃会副会長が各位の日頃の市仏連行事への御協力の御礼と更なる御指導願いを述べられた。また、神奈川県仏会長横山敏明師からは、お釈迦様の八十年の生涯の教えに則して今日一日を有意義に平和に過ごし、明日から人々の幸福や社会安楽の為にお力をお願いすると期待された。南・港南区仏会長の市川智彬師からは、会処提供の常照寺様と関係者、参拝者等に感謝の言葉を述べられ、暖かい気持ちで支え合い頑張ろうと話された。会処の常照寺住職伊東隆司師が、「このお堂は大正12年の大震災にも潰れず、昭和二十年の横浜大空襲にも焼かれず、今日の姿を保持したことは仏天のご加護と感謝致し、この度、仏者会の行事を営ませていただくことに感銘しています。釈尊の教えを奉じる各宗派のお上人や檀信徒の方は等しく世界平和と諸人安寧の生活に直結するものと確信し、感激さめやらぬ思いで一杯です。」と挨拶された。

そして、亀野哲七師により大橋照子先生を紹介いただいた。フリーアナウンサー、パーソナリティ、話し方教室講師等で活躍されて、先生の経験豊富な話しぶりに皆聞き入った。

講演録 「真心を届ける言葉」
フリーアナウンサー 大橋照子

本日は涅槃会の荘厳な法要をご一緒させていただき、心が洗われる様な気持ちになりました。私はアナウンサーを三十年くらいしております。



◆望ましい声

言葉というのは、まずは声です。耳鼻科の先生にお伺いしますと、声帯はほとんど縮んで、老化していくのだそうです。しかし、声は磨けば磨くだけ、いくらでもツヤツヤになり、その声は、いつまでも持続できるのだそうです。大切なのは、望ましい声か望ましくない声かということです。例えば望ましい声には、くつきりと歯切れの良い声・暖かみのある声・説得力のある声など色々あります。そして望ましくない声には、冷たく

最後に釈尊奉讃会寺務次長の程木昭徳師よりお知らせがあり、閉会のことを市仏連副会長の山本信行師より、日々無事は好日を祈念する挨拶があり、第三十三回涅槃会が閉会された。午後四時。

人を寄せ付けない声・ねちっこい嫌味っぽい声・押し付けがましい声：。これ、真反対にある声のように思えますが、紙一重なのです。ニュースとかスポーツ実況のくつきりと歯切れの良い声は、感情をこめて言っただけではないのです。しかし、感情をこめないと冷たい声になります。つまり、望ましい歯切れの良いくつきりとした声と、望ましくない冷たく人を寄せ付けない声というのは真反対ではなく、紙一重なのです。時と場に応じて、望ましく思えたり、望ましくない声にとられたりするのです。ですから温かく言っているつもりが、ねちっこい嫌味っぽい声にとられることも紙一重なのです。時々胸に手を当てて「これは望ましくない声になっていないかな」と、思うことも大切なかもしれませぬ。

◆話題づくりのアンテナ

さて、次は話の内容です。人の興味を引く面白い話題を、どのようにつまみかきかというコツをお話したいと思います。私は、どんなときも、感動した

話、面白いネタは無いかなといったもアンテナを張っています。そして「あ、面白い！」と思っただけにネタ帳に書いていくようにしています。タイトルだけでも書いておくと出し易いです。特に季節ごとのページをつくり、時々のお話を書いておくと便利です。みなさんも各自に応じたジャンルのページを作られたらどうでしょう。私のネタをいくつか申し上げます。今日は涅槃会ということですので、命の話からしてみます。

◆話題① 寿命

日本人の寿命。男性は七十八歳、女性は八十五歳といわれています。女性の方が長く生きると思われがちですが、実は生命保険会社の統計によりますと、男性も六十五歳を過ぎれば平均寿命は八十五歳なのだそうです。社会の中で大変な毎日をお過ごしの方は、辛いことも多いと思います。ですからこの六十五歳を乗り越えようと女性と同じ平均寿命になるわけです。最近聞いた話なのですが、女性は残業を四十時間過ぎると気分が悪くなったり体調を崩して、生理的にストップをかけるそうです。ところが、男性は頑張る人間だそうなので、残業四十時間になると燃えてくるのだそうです。そこで無理がたたって過労死になってしまう方もあるということです。もう一つ学説があります。どんな動物も生まれてから亡くなるまでの脈拍数は一緒だということです。人間で計算しますと、一秒に一回心臓が打つとすれば、八十歳までで、約二十五億



◆話題② 親切

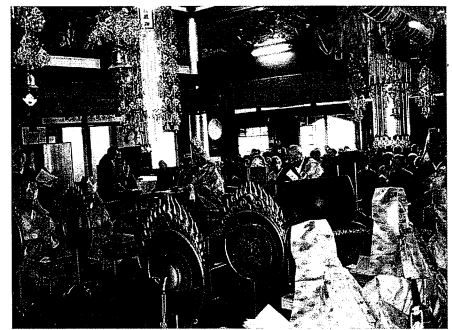
横断歩道での出来事です。向こう側で信号待ちをしている人の中に二人の二十歳くらいの男の子がいました。二人とも茶髪で、一人はピアスをしてすごい金髪です。この二人、仕事してるのかな、学生でもなさそうとちょっと軽いなあと思っただけでした。すると、二人の隣にお婆さんが歩いてきました。そして、そのお兄さん達が、

おばあさんに何か話をしてるのです。信号が青くなり、向うからみんなが渡り始めたら男の子たち、ゆつくりと歩くおばあさんの両脇に立って手を繋いで、荷物を持って歩いてくるとはありませんか。私はびつくりして、え、金髪のお兄さん達がおばあさんの手をとって歩いてくる。本当に胸が熱くなりました。金髪とかピアスとか、見かけだけで、判断してしまっただけで、自分も申し訳なく思いました。うわあ、今の若い子たちこんな優しい気持ちを持っているのだ、こんないい心がけしているのだと涙が出るくらいの気持ちになって、三人がこちらの方へ向かってくるのを見ていました。心が洗われる思いでした。

◆話題③ 怖い人

わたしのラジオ番組に高校生の男の子から手紙が来ました。

「大橋さん、この間、僕、地下鉄に乗って降りて階段を上がっていったら、前におばあさんが荷物を持ってゆつくり上がっていくのを見て、お婆さん荷物お持ちしましょうと手を出したんです。そしたらおばあさんが『その手には乗らないよ。』と言われました。僕は荷物を持ってあげようと思ったのに、今はそんなことも言えない時代なのですか。恥かしくて悲しくて、走って家へ帰ってしまいました。」悲しいですね。世の中どうなっているのでしょうか。優しい親切、それをあげる方も勇気を持ってあげているのですから、喜んで手荷物を



心の交流になるのだと思いますが。一昨年くらいに、小学生が沢山誘拐され被害に遭うことがありました。あの時に学校で生徒さんを集めて先生が言ったんだそうです。「みなさん、気をつけてください。ね。本当に怖い人というのは、怖い顔して近づいてくるのではなく、優しい顔してくるんですよ。みなさん、優しい顔をしている人には気をつけてください。」これもちよつと悲しいですね。世の中がちよつと違っているのではないかと、冷たい気持ちが胸の中を過ぎていきました。

◆話題④ ファックス

私の友達に、少し年配の友達がいます。この女性が機械がダメなのです。その友達がファックスを送った時のことです。

「書いた手紙が電話機の中にスツと吸い込まれていって、友達のうちに行つたと思つたら、下から戻って来ちゃった。もう一回入れて送信。今度こそ行つとかしら。あ、

◆話題⑤ お持ち帰りメニユー

これもちよつと年配の女性です。ファミリーストランに初めて行った時の話です。はじめて椅子に座って食べていたら、ふとテーブルにお持ち帰りメニユーと書いてあったので、帰るときにその立派なメニユーを小脇に挟んで、お金払って帰ってきたらしいんです。家にお持ち帰りメニユーを置いておいたら、お嬢さんが「お母さん！何これ、このメニユー持って帰ってきちゃつたの」「だつてお持ち帰りメニユーって」「違うよ。ここに書いてあるサンドイッチとかピザを持って帰れるので注文してください。ついでという意味でしょう。」

どうやら、このお母さん、近所のお弁当屋さんのメニユーのお持ち帰り版と思つたらしいのです。これも色々な勘違いがあるなど思えます。

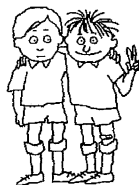
◆コミュニケーションは笑顔から

私は一対一でも大勢の人の中でも、人とのコミュニケーションで一番大切なのは笑顔だと思つています。一番いい声を出すのは、笑顔の時

◆放送禁止用語は普段もダメ

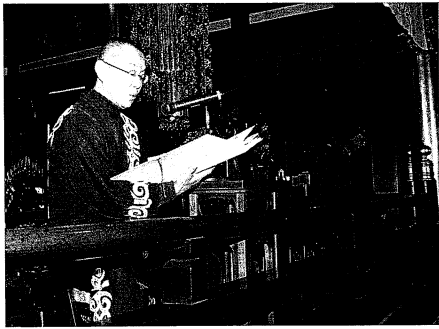
さて、心をこめた話し方として、一番気をつけなくてはいけないことがあります。放送禁止用語です。私は放送で言つてはいけない言葉イコール、誰でも普段は使つてはいけない言葉だと思つています。ですから、放送に携わつていない方でも、普段は使わないほうがいいかと思つています。参考にお話しさせていただきます。一番私たちが

なかなかに難しいものです。俳優やモデルさんは鏡を見て練習しています。自分の顔に向かって笑顔を作るというのは、照れくさいものですが、慣れると誰の前でも笑顔が作れます。私は日本橋高島屋デパートさんのアナウンス指導をしています。「まず笑顔ですよ」というお話をしています。笑顔があると、皆さんの心に沢山のエネルギーを差し上げることが出来るのではないかと思つています。



か、病気の名前を出して笑うというのは、もつてのほかだと思つています。このことで本当に苦労されたその名前を出して例に出すだけでもわたしはいいなと思つています。

◆真心を届ける努力
私たちがレポートしている時、たとえ十五秒でも、テレビのカメラをズーッと見ながら喋るのはすごく緊張するのです。だから何回も何回も練習をすべくします。パー



◆聞き手の気持ちになった話し方
話し手と聞き手が気持ちが悪くずれてしまうことがあります。一生懸命で挨拶や司会をしますが、皆様がプロだから当然上手といいますが、練習しているから上手なのです。プロだからって言われるから練習するのです。自分で書いた原稿を生放送のために何回口にするか、数えられないほどです。三十年やるとだんだんサボツてくるのですが、最初の五年十年はものすごく練習しました。よく話し方教室で指導していますと、受講生に言われます。「人の前に立つと緊張するのです。うまく喋れません。何を言っているか、頭が真っ白になります」と。私たちは、練習を百回はやって、やっと人前に立っています。何とかなると思っています。何とかならぬ。誰よりも上手にできるのは誰よりも練習しているということです。コツといえどこれしかありません。プロだから上手ではないのです。

命、練習したり、心をこめて言っているのに、通じないことがあります。この間、春も満開の桜の下を歩いていました。そこに一般の方のお家の塀があり、中から大きな満開の桜が枝を伸ばして、花吹雪がヒラヒラヒラ。その下を歩きながらその家の奥様に向かって、「やあ、素晴らしい桜ですね。なんて素敵なのでしょう、羨ましいです」と褒めたのです。そうしたら、その家の奥様は、私のほうをにらみつけて「何がいいんですか。この花びら、くつついて取れないし、掃除が大変で不愉快ですよ。秋も毎日毎日枯葉が散って、この掃除も大変です。切っちゃいたいくらいです。本当に嫌ですよ。この桜は！」って言って、怒られてしまいました。私は褒めたのに叱られてびっくりしたのですが、その時に思ったのは「不愉快だと思ってもいるんだ」ということです。これは一つの発見でした。いろいろな発見をするためには、いろいろな方向から見てみる。物事は絶対にごうだと言ったことではなく、少し見方を変えてみる必要があります。一つ一つの事を一方的に押し付けがましく言うのではなくて、謙虚な気持ちで接すると相手にも素直に聞いてもらえるのではないのでしょうか。

◆聞き上手は釣りの心で

人と話をしている、「しーん」と何か話題に困ったことはないでしょうか。これはいつも自分が話をしようと思うからプレッシャーになるのです。コツは効き上手に



なることです。私が思うには、会話というのは自分が五喋って相手と五という五対五と思うから大変なことです。話と語るのは自分が三、相手から七聞き出す三対七くらいで「度良い感じ」です。「今日はちょっと楽しくお喋りできたわ」と思ってもらえる感じがします。会話というのは釣りと同じだと思います。釣竿があつて釣り糸があつて、端っこに餌があります。餌が美味しければ美味しい魚がかかってくるでしょう。自分から出すお話しというのは、餌に相当する小さな美味しいお話し、少しでいいのです。美味しい餌にあたるお話をちよつとしたり、相手から「それならそういう経験があるのよ、私も知っていますけど」、あ、わたしも思い出したんだけど。「とつながって来るのが「美味しい魚」です。美味しい魚がかかってくる、もうどんどん自分の方に引いてくる。そうするとシーンとはならないのです。相手の話を一生懸命聞いてあげれば、自分自身の話題のポケットも

豊かになります。自分の話をするばかりだと、空っぽになって話題がなくなるのです。だから、餌に相当する小さな話だけはいつも胸の中に持っていて、少し出して餌をズルズル引き出す。これが聞き上手になるということです。

◆相槌の仕方で親しみは変わる

もうひとつ、聞き上手になるコツは相槌です。ふつうは、「はい」「ええ」「そうですね」「本当ですか」「知りませんでした」「くらいしか出てこないことが多いのです。けれども、日本語は豊かな言語ですから、百個くらいは相槌に使える言葉があります。私たちはインタビュをする時、同じ相槌を二度と使いません。違う相槌を打つのです。途中でうなづくくらいでもいいのです。毎回の相槌が、「そうですね」と言った言葉で終わってしまうのではなくて、その後疑問型をつけると話はいくらでも繋がります。「それからどうなつたんですか」「そのときどうなつた？」「素晴らしいですね」「初めて聞きました」「そのほかに何かありますか」と、疑問型で返していけば延々と話は繋がります。シーンとはしません。しかし、相槌の中で使つてはいけないものがあります。「ええっ?」「やだなあ」「でも」っていうことばです。これは使つてはいけない言葉と江戸時代からも言われています。この、「でも」とか「そうかなあ」とか嫌つていうことばは、戸を閉める、戸閉め言葉として忌み嫌われている言葉なのです。この言葉

を使わずに、人から言われたら何でも「はい」「そうですね」と言つても、日本語はいろんな言い方につなげることができるので大丈夫です。どんな時でも「はい、わかりました。……ところで……」というように、一旦、相手側の気持ちに従つてあげて、そしてこちらの言い分を理解していただくように工夫することが出来るのです。

◆真心を届けるために

言葉と言うのは、心の表現として大切です。そして、考えれば考えるほど沢山の豊かな話題が出て来るものです。どうか皆さんもこの言葉や話題、面白いって思ったときには、ぜひ書き留めてください。そして、少し注意を払つた言葉で真心を伝えてください。最近では、ら抜き言葉のように言葉が乱れております。できれば正しい日本語を小さい方に教えて行きたいものです。私も今日の荘厳な気持ちを思い出して手を合わせてさらに頑張つて行きたいと思えます。

(要旨抜粋)



神奈川県仏教会会長
横浜市仏教連合会顧問
曹洞宗西有寺住職

横 山 敏 明

〒231-0859 中区大平町九六
電話六六一〇一六六

横浜市仏教連合会顧問
法華宗陣門流勸行寺住職

都 築 哲 信

〒220-0002 西区南軽井沢九
電話三一〇三五五七

横浜市仏教連合会会長
臨濟宗建長寺派松蔭寺住職

川 上 敬 吾

〒230-0077 鶴見区東寺尾二一八一一
電話五七一〇一七〇一

横浜市仏教連合会副会長
曹洞宗長昌寺住職

玄 野 孝 善

〒241-0822 旭区さちが丘五九九
電話三九一一一三七九

横浜市仏教連合会副会長
都筑区仏教会長
高野山真言宗長王寺住職

山 本 信 行

〒224-0053 都筑区池辺町二八二七
電話九四一一一三六七

横浜市仏教連合会会計担当
浄土宗浄念寺住職

橋 下 賢 明

〒234-0056 港南区野庭町六四三
電話八四二一七二八八

横浜市仏教連合会専務理事
浄土宗見光寺住職

林 田 眞 成

〒240-0004 保土ヶ谷区岩間町二一四〇
電話三三一一〇六〇七

横浜市釈尊奉讃会事務局次長
曹洞宗東照寺住職

程 木 昭 徳

〒223-0053 港北区綱島西一十三一十五
電話五三一〇一七八三

横浜市釈尊奉讃会事務局長補佐
曹洞宗東林寺住職

滝 田 光 久

〒222-0026 港北区篠原一二五二二
電話四二一一〇三三二

横浜市仏教連合会常務理事
栄区仏教会長
高野山真言宗般若院住職

星 野 英 秀

〒244-0842 栄区飯島町二一四九
電話八九一一一七〇一

横浜市仏教連合会常務理事
神奈川区仏教会長
曹洞宗本覚寺住職

守 長 尚 文

〒221-0057 神奈川区高島台一一二
電話三二二一〇一九一

横浜市仏教連合会常務理事
緑・青葉区仏教会長
高野山真言宗萬藏寺住職

河 本 冨 文

〒226-0012 緑区上山二一一五一一
電話九三一〇一五七三

<p>横浜市仏教連合会常務理事 金沢区仏教会長 臨濟宗建長寺派金龍禅院住職</p> <p>志村碧崖</p> <p>〒236-0027 金沢区瀬戸一〇一―一二 電話七〇一―八八二三</p>	<p>横浜市仏教連合会常務理事 磯子区仏教会長 高野山真言宗大聖院住職</p> <p>鷺雄興勝</p> <p>〒235-0055 磯子区東町六一―二〇 電話七五一一―〇六七二</p>	<p>横浜市仏教連合会常務理事 南・港南区仏教会長 曹洞宗興禅寺住職</p> <p>市川智彬</p> <p>〒232-0007 南区清水ヶ丘二二二五 電話二二二―一七五九〇</p>	<p>横浜市仏教連合会常務理事 西区仏教会長 曹洞宗萬徳寺住職</p> <p>横山正彦</p> <p>〒220-0031 西区宮崎町三二二 電話二四二―四五三三</p>
<p>横浜市仏教連合会会計担当 日蓮宗妙光寺住職</p> <p>秋山智謙</p> <p>〒246-0006 瀬谷区上瀬谷町八一―三 電話三〇一―二九八九</p>	<p>横浜市仏教連合会常務理事 港北区仏教会長 日蓮宗妙蓮寺住職</p> <p>山本玄征</p> <p>〒246-0006 港北区菊名二―一―一五 電話四三一―四四四一</p>	<p>横浜市仏教連合会監事 真言宗御室派寶珠院住職</p> <p>佐伯隆義</p> <p>〒236-0051 金沢区富岡東五一―八―十九 電話七七―一五〇―一三</p>	<p>横浜市仏教連合会常務理事 戸塚区仏教会長 曹洞宗雲林寺住職</p> <p>北見秀明</p> <p>〒244-0002 戸塚区矢部町七八八 電話八六一―一三二四</p>
<p>横浜市仏教連合会御用達 （株）イーエス観光神奈川社長</p> <p>真川明</p> <p>〒240-0022 保土ヶ谷区西久保町一―四 公園ハイツ二―一―一八 電話三三四―三三〇〇</p>	<p>横浜市仏教連合会顧問弁護士</p> <p>遠藤隆也</p> <p>〒221-0022（自宅）神奈川区白幡上町一八―一三 電話四三二―一六一九二 〒110-0015 事務所 台東区東上野二―一八―七 電話〇三―八三二―二八一九</p>	<p>横浜市仏教連合会会報担当 曹洞宗東泉寺住職</p> <p>関水俊道</p> <p>〒245-0017 泉区下飯田町七四三 電話八〇二―一八〇九七</p> <p>真言宗豊山派西福寺住職</p> <p>備前恭忍</p> <p>〒246-0037 瀬谷区橋戸三―二―一二 電話三〇一―一六―一三〇</p>	<p>横浜市仏教連合会時局対策委員長 日蓮宗大圓寺住職</p> <p>佐藤功岳</p> <p>〒231-0859 中区大平町九四 電話六四一―四九三三</p>



港北区

昨年の十一月十八日と本年四月十二日の二回にわたり、横浜商工会議所北部支部主催、港北区仏教会の協賛により、「七福神と古刹を巡る部会の安らぎウォークツアー」を開催致しました。当イベントは横浜港北七福神をウォーキング(一部東急東横線・横浜市営地下鉄使用)で巡るといって催し、十一月の第一回目には、菊名・妙蓮寺集合の後、菊名弁財天、菊名・蓮勝寺の毘沙門堂、日吉・金蔵寺の七福神(寿老人)、綱島・東照寺の七福神(布袋尊)と巡り、また、本年四月に行われた第二回目では、高田町・興禅寺の福祿神、新羽・西方寺の恵比須神、新横浜・正覚



院の大黒天を巡りました。このイベントには、延二百人以上の二十歳代から七十歳代の幅広い年齢層の一般の方々が参加され、参拝元の寺院では、各寺院ごと住職により奉られていた七福神の説明や、寺の由来・歴史等の講話が行われ、日頃、あまり寺院と接点の少ない近隣の方々にお寺と触れ合せて頂ける良い機会となりました。今後とも、地域の活動に積極的に参加貢献して行きたいと感じております。

金沢区仏

- 平成20年行事報告並びに予定
- 1・1 機関紙「慈光」新年号発行
- 1・15 新年定期総会(相生「真鶴会館」)
- 4・6 第62回花まつり大会(六浦・長生寺)
- 4・12 金沢スプリングコンサート後援(金沢公会堂)
- 4・22 古寺参拝研修(総持寺・川崎大師平間寺)
- 5・20、21 釈尊誕生会参拝旅行

(茨城、雨引観音楽法寺、観世音寺、笠間稲荷、願入寺、牛久大仏)

5・26 定期総会(金龍禅院)

8・31 第58回仏教文化講演会(金沢公会堂 講演・ミッキー安川氏 落語・隅田川馬石師匠)

11・26 寺務研究会

●保土ヶ谷・旭区仏教会

今年度より役員が交替致しましたので、平成二十年度の行事予定をご報告させて頂きます。

一、「花祭り」法要

四月四日 於川井町長源寺 参加人数 一三七名

講師 満願寺住職 平幡良雄氏

二、定例総会

四月十三日 於エクセル横浜東急ホテル

平成十九年度決算・事業報告・平成二十年年度予算案・事業計画案の審議

三、春の仏跡参拝日帰り旅行

五月十五日 秩父の曹洞宗・広見寺・秩父三十四観音霊場札所・二十三番音楽寺・秩父神社の参拝等、バス二台約八十名の参加

以上、実施済行事

四、秋の仏跡参拝日帰り旅行

日時未定

五、成道会法要

十二月初旬予定

六、歳末助け合い托鉢

十二月中旬予定

七、役員新年会

一月下旬予定

以上が例年の仏教会の行事ですが、保土ヶ谷・旭区内三十ヶ寺のご寺院・檀信徒のご協力により、和気藹藹のうちに行事が行われて

おります。

●瀬谷区

平成十九年十一月八日、午後六時三〇分、瀬谷区仏教会会議 於長天寺。出席者・長天寺 宗川寺、徳善寺、宝蔵寺、最勝寺、善昌寺、西福寺、妙光寺の八ヶ寺

歳末助合募金集金・一二五〇〇円の八ヶ寺分一〇〇、〇〇〇円也、社会福祉協議会へ届ける日、十一月十三日

忘年会 十二月一日(土) 午後七時半、於うかい亭 八名出席

新年会 平成二十年二月(月) 午後六時半、於藤沢市辻堂の車屋 八名出席

相鉄の八福神めぐりキャンペーンに協力。平成二十年一月一日、一月三十一日。スタンブブック改訂、大版一枚案内図作製。例年にくらべて参拝者が多かった。

平成二十年年度総会 於妙光寺 八ヶ寺全員出席、年会費一五〇〇〇円徴収。四月二十二日。時局対策委員の葬儀についてを検討。

事務日誌

- 19・11・5 慰霊堂出仕西区
- 19・11・11 役員会
- 19・11・21 涅槃会打合せ興禅寺
- 19・12・14 理事会忘年会(同發)
- 20・2・1 涅槃会打合せ常照寺
- 20・2・14 第33回涅槃会常照寺
- 20・2・24 会報編集東泉寺
- 20・3・16 会報発送
- 20・3・28 祝電港北区東照寺
- 20・4・7 慰霊堂出仕磯子区
- 20・4・26 総会案内発送
- 20・4・29 祝電南区勝国寺

編集後記

◎北京オリンピックの聖火リレーで混乱が起きた。チベット自治をめぐる中国政府の行動に抗議してのものだ。昨年、横浜を訪れたタライマ法王は、仏教による平和の呼びかけを強調されたが、自国での困難さを強く感じての切実な願いであったことが伺い知れる。スポーツに政治が介入して開催が危ぶまれることは残念なことだが、スポーツの祭典を機に、政治が動いて平和に近づくことは大いに歓迎したいものだ。

◎最近の葬儀の簡素化は著しい。通夜の省略、炉前読経のみ、戒名不要等の葬儀も多いという。密葬、家族葬、親族のみという希望も多い。その多くの理由は、介護療養に経費がかかる金銭的な問題に起因するようだ。そんな状況から葬儀社も、その葬儀社の葬儀を請け負う僧侶も危機感を強くしているという。時局対策委を中心とする市仏連の取り組みは、このような情勢を危惧して一石を投じて来たが、葬祭業社との問題を越えた社会現象に向けて、新たな対応が迫られていると言えよう。

◎最近の世相を新聞やテレビで見ていると、やたらと人を殺してしまふ記事が多い。人の命の尊さを理解せず自分の感情をむき出しにして行動をとるから危ない。こういう世の中だからこそ仏教の心髄を説くべきであらう。僧侶の布教活動に期待する。